



箱根教育合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

令和6年 10月 16日 宮城野保育園 発行

秋になり園庭にはトンボが飛び交っています。虫を捕まえることが大好きな子どもたちは、夢中になって虫取り網を持っています。虫取り網にも人気なものがあります。それは網に穴が空いてないこと、網が曲がってないことが条件です。虫取りに夢中になればなるほど網は傷んでいきます。ある日人気の網がなくなりました。そこで縫ったり直したりするのが得意な保育者が洗濯ネットをきれいに縫って網に再生しました。昨日まで人気のなかった網が大復活をとげ、大人気に！幼児期に物を大切に扱うこと、環境を通して学ぶことが大事なことだと考えます。そして虫かごも！どうしても虫かごの網の部分が欠損しがちですが再生したら、子ども達はそれを持って探検に出かけるようになりました。周りにいる大人が見本となるように、生活を丁寧にすることで、子ども達の行動は変わっていくものだと感じました。壊れたままや汚れたまま生活するよりも気持ちよく生活し子どもたちの「やってみたい」を実現するために環境を大事にしていきたいです。

3. 4.5歳児運動遊びの日

秋晴れの空の下、保護者の方と共に運動遊びを楽しみました。日頃園で楽しんでいる遊びややってみたいことを盛り込み笑顔で楽しむことができました。保護者の競技ではどの保護者も笑顔で楽しんでいる様子が伺われ、子ども達は園児席から立ち上がり、大きな声で応援していました。とにかく楽しむこと！楽しい気持ちが伝わりやる気につながりました。箱根の森小学校の藪校長先生は最初から最後まで見学してくださり、子ども達に温かい拍手や言葉をかけてくださいました！保護者の皆様も日差しが暑い中ご参加ありがとうございました！



2歳児の世界をのぞいてみよう

雨上がりのある日。2歳児ちゅうりっぷ組がホールで遊んだ後保育室に戻ってきました。乳児園庭では、急に降った雨が上がったので今がチャンスと片づけてなかった玩具を保育者が片づけていました。その様子を子ども達が窓から見つけ、「何をやっているの～」「おもちゃを片づけてくれている？」「そうだそうだ～」「〇〇先生～ありがとー！」「ありがとー！」この後ありがとーのダンスが始まります…会話が成立していました。普段の大人の会話を聞いて学んでいること、そして自分たちのためにしてくれていることを感じ、感謝の気持ちが育っていること…感動しました。子どもは日々アンテナを張り吸収していることが分かり丁寧に関わっていくことの大切さを改めて感じました。



箱根写真美術館へ

写真家遠藤桂様（楓月さん父）の美術館にお招きをいただきアメリカ人写真家のブルースさんとお会いする素敵な体験をしてきました。ゴミから作る光のアート体験で、事前に園で光に当てたら面白いかも？というのをコンセプトに土台を作成し、実際の美術館に行って作品を置いてみたり付け足したりしていました。ブルースさんの作品も鑑賞させていただき本物のアートを感じました。ブルースさんに「ブラボー！」と言われたさくら組は自信をつけて帰園しました。

